



No. 2 1

有脇小学校校長だより

2019・6・12

子どもたちは成長しています

6月8日に「ふれあい学級」を行いたくさんの保護者のみなさんに参加していただきました。1時間目は通常授業を行い、2・3時間目にスペ

シャルな講座を行いました。1年生は半田市図書館から講師をお招きして「読み聞かせ」…図書館の講師の先生の読み聞かせに子どもたちは釘付けでした。2年生はジブラルタ生命から講師をお招きして「お小遣い教室」…講師の先生の軽妙なトークに笑顔があふれました。3年生はカリモクから講師をお招きして「カッティングボード作り」…目の粗さの違いやすりを使ってひたすら磨くのですが、どの子も保護者も集中してましたね。4年生は体協から講師をお招きして「カラーリング大会」…駆け引きが成功すると歓声があふれていました。5年生はボーイスカウトの講師をお招きして「飯ごう炊さんカレー作り」…火がはやく通るようにジャガイモは薄く切るんですね。林間学習の本番が楽しみです。6年生は「消しゴムはんこ作り」…こんなに静かなふれあい学級は初めてでした。“黙々と”とはこのことを言うんですね。というそれぞれの学年でスペシャル講座を実施しました。どの講座も保護者と一緒に楽しそうに（集中して）活動していました。

4月、新年度が始まって2か月が過ぎようとしています。5月には10連休があつて、その時点でリセットされた感もありましたが、子どもたちは確実に成長しています。6年生は、最高学年として、学校のリーダーとしての自覚ができつつあります。5年生は、高学年として低学年に対しての対応に優しさが見え始めました。4年生は、去年までの「される」から「する」立



場への変化になれつつあります。3年生は、2年生の時とは違って少し落ち着きが見え始めました。2年生は、1年生が入学して、少しだけお兄さんお姉さんの意識が芽生えはじめました。1年生は、できることがどんどん増えています。もちろん、できないことやよく考えなければならないこともたくさんあります。それも含めて子どもたちは“成長”しています。3月が楽しみです。

ここで引き渡します



6月8日のふれあい学級の後に引き渡し訓練が行われました。「引き渡し」については地震、津波はもちろん大雨や不審者対応にも使われる可能性があります。大げさかもしれませんが「命の引き渡し」です。確実に安全に行うためにもこうした訓練が大切になります。なお、引き渡しカードで記入内容に変更等がございましたら、できるだけはやく担任に申し出てください。

無用ですおね、用もまたいいものです

これが有脇小学校の伝統のもと

有脇小学校には「スマイル団」という学年を縦に割った（各学年を4つに分け、それぞれの団に1年生から6年生まで所属する）団での活動があります。それぞれの団で団名や団長が決められ、今年も結成されました。先日「スマイル団遊び」という活動を行いました。それぞれの団で内容が考えられ、「ドッジボール」「けいどろ」「読み聞かせ」「ハンカチ落とし」が行われました。1年生から6年生までが一緒になって活動をしますが、たとえば「ドッジボール」では、低学年を守るルールが新設されたり、高学年が低学年をボールから守っていたりしました。この活動では、高学年は低学年の子どもたちでも楽しむことができるように考えることで、いたわりの気持ちやリーダーとしての自覚を育てます。また低学年は先輩への感謝の気持ちや学校の一員である自覚を育てます。春の遠足も、スマイル団の中の「ペア（スマイル団内では6年生と1年生、5年生と2年生、4年生と3年生がペアをつくります。）」での活動の一環なんです。また、秋の区民運動会でも有脇小学校は学年とスマイル団で参加します。月に1度のスマイル団遊びをはじめ、こうした活動を通して気持ちを育て、縦のつながり、ひいては有脇小学校の伝統をしっかりつくっています。



育てる



有脇小学校では生活科や理科でいろいろな植物を育てています。「アサガオ」「ミニトマト」「ナス」「ホウセンカ」「ヒマワリ」「メロン」などです。うん？「メロン」？小学校でメロンを栽培している学校は他にはないでしょう。有脇生産組合の方々のご厚意で有脇ハウスでメロンを栽培しています。いろいろなものを育て観察することで、子どもたちの心も育てています。